

1

■正答

- (4)(1) いし  
か(う)
- (5)(2) こんぎつ  
たいぐん
- (6)(3) たし(か)  
しゅうかん

2

■正答

- 一 1(1) ウ  
ぼくは
- 二 (2) エ イ  
雪が ↓ ア
- 3(3) ウ  
庭一面が ↓ ウ

■考え方

一 文脈に合わせて適切な漢字をえるようにするためには、同じ音や同じ訓の漢字を集める学習や、自分で新出漢字の読みや意味などを調べる学習に取り組むことが大切です。

二 文中の主語と述語との関係に注意することは、文のつくりを理解するための基礎となるものです。そのため、文の意味を的確に理解するためには、文中のいくつかの主語と述語を対応させながら読むことが大切です。

3

■正答

- 一 親方
- 二 イ
- 三 (例) (二人が)とてもこわい(と感じている様子) (六字)  
(二人が)こわくてにげ出したい(と感じている様子) (十字)  
(二人が)泣きわめきたい(と感じている様子) (七字)

■考え方

三 「くしゃやくしゃの紙くずのように」という表げんから、二人の気持ちをとらえます。ここでは、「自分たちが食べられてしまうかもしれない」と思い、二人がこわがっている様子が分かります。文章を読むときには、場面のてん開にそって読みながら、感動やユーモア、安らぎなどを生み出すすぐれた表げんに着目して自分の考えをまとめることが大切です。